一般質問通告書

令和7年8月21日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 6番 吉里 浩恵

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
② 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1) 発言事項	熱中症対策の現状と今後の取り組みについて
要旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	<p>近年、地球温暖化の進行に伴い、国内において夏季の平均気温が上昇し、記録的な猛暑日が増加しています。総務省消防庁の統計によれば、全国での熱中症による救急搬送件数は年々増加傾向にあり、特に高齢者や子どもを中心に深刻な健康被害が報告されています。</p> <p>本市においても例外ではなく、夏季には市民生活や学校教育、地域活動、農業従事者の作業環境など、あらゆる場面で熱中症のリスクが高まっています。気候変動による猛暑は一時的な課題ではなく、今後も継続的に対策が求められる重要な行政課題であると考えます。</p> <p>熱中症は「予防できる災害」とも言われており、市としても保健・福祉・教育・防災の各分野において横断的な対策を講じることが求められています。特に、高齢者や子ども、障がいのある方、屋外での作業に従事する方々へのきめ細かな支援が重要です。</p> <p>以上を踏まえ、以下について質問いたします。</p>

1 本市における熱中症発生の現状について

- ①市内での熱中症による救急搬送件数や、年代別の発生状況について、直近のデータをどのように把握しているのか伺う。
- ②高齢者など、特にリスクの高い層への注意喚起はどのように行っているのか。

2 学校等における対策について

- ①小中学校での空調設備の整備状況、暑さ指数（WBGT）の測定・活用状況について伺う。
- ②子どもたちが屋外で活動する部活動における熱中症予防のガイドラインや指導体制について、どのように取り組んでいるのか。

3 地域における熱中症予防支援について

- ①一人暮らし高齢者の見守り活動、農作業従事者や地域行事に対する熱中症予防の啓発活動はどのように実施されているのか。
- ②市として、熱中症予防グッズ（経口補水液、日よけ用品、簡易冷却材など）の配布や補助を検討しているのか。

4 今後の取り組みについて

- ①今後、ますます暑さが厳しくなる中で、恒久的な熱中症対策について、市の考えを問う。